「十字架に釘付けにして取り除かれた」　　2019年03月12日

コロサイの信徒への手紙2章6節～15節　あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかり守って、あふれるばかりに感謝しなさい。人間の言い伝えにすぎない哲学、つまり、むなしいだまし事によって人のとりこにされないように気をつけなさい。それは、世を支配する霊に従っており、キリストに従うものではありません。キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており、あなたがたは、キリストにおいて満たされているのです。キリストはすべての支配や権威の頭です。あなたがたはキリストにおいて、手によらない割礼、つまり肉の体を脱ぎ捨てるキリストの割礼を受け、洗礼によって、キリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。肉に割礼を受けず、罪の中にいて死んでいたあなたがたを、神はキリストと共に生かしてくださったのです。神は、わたしたちの一切の罪を赦し、規則によってわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。そして、もろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストの勝利の列に従えて、公然とさらしものになさいました。

「著者」は、「あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかり守って、あふれるばかりに感謝しなさい」と、キリストに造り上げられ、感謝に溢れ、信仰を守れと勧めている。そして、「人間の言い伝えにすぎない哲学、つまり、むなしいだまし事によって人のとりこにされないように気をつけなさい。それは、世を支配する霊に従っており、キリストに従うものではありません」と忠告する。「人間の言い伝えにすぎない哲学、むなしいだまし事」は、キリスト教から派生した異なる教え（異端）ではなく、当時流行し、人々の心を魅了していた諸々の宗教、また、ギリシア哲学から生まれた教えを指す。世を支配する霊に従う教えの虜にならないように忠告している。そして、キリストの福音を「キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており、あなたがたは、キリストにおいて満たされているのです。キリストはすべての支配や権威の頭です」と、キリストに神性が見える形で宿り、あなたがたはキリストにおいて神性に満たされていると弁証している。あなたがたは手によらない割礼、つまり肉の体を脱ぎ捨てるキリストの割礼である洗礼によって、キリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられた。「神は、わたしたちの一切の罪を赦し、規則によってわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。」神は、キリストの十字架と復活において、律法によって罪人としていた証書を破棄し、支配と権威の武装を解除し、人間の営みである支配、権威を公然と晒しものとして、キリストの勝利に従うものとされた。「著者」は、キリストの十字架によって罪が赦され、キリストの復活に与って、共に復活させられたと力説する。それは、人間が造り出した一切をキリストの十字架は釘付けにし、無力なものとして取り除き、罪が生み出す死から永遠の命に生まれ変えさせる神性に与って、神に生きる者となったという福音である。